

Cグループ

地域つながりの参画

主催する研修会で市長にスピーチをお願いしている。

市民一斉清掃

・少年補導員
・わんぱくスクール指導員（今年から）
・NPO法人

旗宿地域保全隊
ホテルの里づくり活動

町内会活動に参加して欲しい（子供会・老人会）

主催する参画

小峰城石垣ボランティア

ボランティア活動

太鼓ボランティア

NPOで提灯まつりのパンフレット作成

出会いふれあいの会

民間で主催しているイベントなどで、担当課全員でなくても誰か一人でも参加してほしい。

イベント・講習会へも参加してほしい。

中心市街地などで買い物をしたり、遊んだりする。

NPOで出会いふれあいの会の身だしなみ講座講師

イベント等に参加

親子で楽しめるイベント

実際に利用したり運用するのが市民である場合には参加してほしい

地域のお祭りや行事に積極的に参加する。

行政と議員（議会）だけでは判断しきれない問題の時に参加してほしい。時代の流れに合った立案をしていくためには、常に最新の市民の意見が重要になってくると思うため。

市に伝える手段を知らない。やったことがない。

間接

地域の問題は自治会を通じて市や市議に相談や依頼をしている。

議員さんに直接言う

地区の代表者として、町内会長から聞く。

市で募集されている市民会議のメンバーに応募する。

日常の業務の中で雑談等として聞く。

特に強い要望や不満は無いが、行政の仕事を「市政だより」等で知り追認している。

市政懇談会

検討委員会を設置し、その中で市民の想いや意見を聞いている

陳情・要望書により

選挙で選んだ市長により新しい図書館ができ、歴史景観ほ保護が図られている。

直接

電話で伝える。

直接担当者に話しに行く。

総合相談室の設置。

直接市の窓口にお問い合わせ（電話なり、役所に行くなどして）。

震災の対応について市の窓口でTELして確認や依頼をしている。

課題(行政)

課題(市民) 問題点

住民の積極的な参加が見込めない(参加人数が少ない)。
代表者がメンバー(住民)の意見を取りまとめられない。
仕事として人を集めるのは良いが、もっと積極的に参加してほしい。
一部の声の大きい人の意見や思いが伝わりやすくなっている。

行政行為に対する不服の申立の難しさ
回復の難しさ
教科書選定に参画したいが、どうしたら良いかわからない。
行政の審議会に参加して意見を出しても施策に反映されない。
街路樹の伐採をやめさせる参画の方法がない。

協働という名もとの市民への負担(強制労働?)
行政側で市民の声を聞くにあたり、どうしたいというたたき台の準備が不十分な場合がある。

担当者が2~3年で変わってしまう。
やっと顔を覚えてもらうと担当者がいなくなる。→同じ事を1から説明しなければならない。
市に問い合わせたときに、自分の意見に対してきちんと取り合ってくれるのが不安。
参画しようとして意見を出す、まず、できない理由をのべられ、それ以上話しが進まない。

市側市民ニーズを把握できない。
市民が欲するものと行政が提供するものの不一致。
市民と行政の横の連絡がうまくいっていない時がある。

情報の偏り
一部の方にしか情報が伝わらない。
情報伝達方法
・広報誌を見ない人
・HPを見ない人、見れない人

自分の意見を市に伝えたくてもどこに伝えればいいのかよくわからない。

中心市街地の店に活気がない。

解決方法

場所と時間を配慮する。
環境整備
行政もフォローする。

決定課程の公開。

人が自由に出入りする場所での情報公開

専用の窓口をつくる。

行政としての責任意識を持つ。

ピンポイント会議

解決方法